

Works with Intuos4

「バンタンデザイン研究所2010」のPV&ポスター制作のためのラフ。
「Intuos4」を使用して製作し直してみた。

「バンタンデザイン研究所2010」"Get the POWER" ポスター



STEP1
Photoshopと「Intuos4」を使用し、イラストを描いていく。絵に描いてスキャンするという手間がなくなって格段に効率上がる。もともとの絵の上手さも手伝って、イラストの細部までスラスラとペンを走らせる



STEP2
イラストに色付けしていく。女性のドレスやメイク、男性のマッジョな腕の質感などの微妙なタッチも思い通りに再現。手の動きに対するレスポンスが良いので、ペタの塗りつぶしもスムーズ



STEP3
細部の修正作業。タッチホイールを使えばブラシサイズの変更も簡単。マニキュアやアイメイクを修正していく。マウスで範囲を指定して修正する手間が省け、作業時間が短縮される



STEP4
同作業を繰り返し、全部で5点のラフを製作する。長時間の作業ながら、マウス使用時に比べ肩にかかる負担がなくなり、格段に楽になる



ペンタブレットが変える 吉田ユニのクリエイティブの現場

クリエイターにとって仕事を効率良く仕上げる上で欠かせないのがペンタブレット「Intuos4」。今回、吉田のクリエイティブの現場にも新たに導入された。

写真＝小長井ゆう子 Konagai Yuko 構成・文＝横田可奈 Yokota Kana

Intuos4
快適性と作業効率を突き詰めた、カスタマイズ自在な高性能ペンタブレット。1gON 荷重、2048レベルの筆圧機能を搭載し、自分のイメージを微妙なニュアンスまで表現することができる
サイズ：Small, Medium, Large, Extra Large
お問合せ先：株式会社ワコム
0120-056-814 (土・日・祝日を除く) <http://intuos.jp/>

reCreate(レクレイト)
クリエイティブに役立つ情報サイト。クリエイター達のペンタブレット活用例も数多く掲載。 <http://recre8.jp>

My Favorit Point!!

“左利き対応”と“替え芯”

「左利きなのでペンは左で持つんですが、マウスはなぜか右手だったんです。ペンタブレットを使ってみて、左でペンを持って描いていると、今まで右手持手のマウスでできなかった動きが現れたんです(笑)。ちょっと感動しましたね。あと、標準の芯のほかに、3種類の替え芯が付いているんですが、私はマジックのようなシャキシャキした音が出るハードフェルト芯がお気に入りです。実際にアナログで描いているような感覚はやみつきになりますね」



画材代わりに絵を描く
木の温もりが感じられる家具に囲まれ、感性を刺激してくれるアートブックが並ぶ居心地の良い部屋で、独特の世界観を持つ吉田のクリエイティブは生まれる。そんな仕事場に新たに導入したのが、ラフやカンパ製作といった作業を進める上で効率的なペンタブレット「Intuos4」。

「これまで紙にイラストを描いて、それをスキャンしていたんですけど、ペンタブレットを使えば、これを画材代わりにして描くことができます。フォントショップでの色付けも、マウスだと肩に負担がかかって、長時間の作業は本当に疲れちゃったんですけど、そういったストレスがなくなりそうですね」

導入を決めたポイントは、左利きにも対応している点。簡単な設定でファンクションディスプレイの表示が反転し、本体を回転させるだけで左利き対応になる。

「これは驚きですね(笑)。撮影現場でいじったことはあったんですけど、ファンクションキーが左にあるので、左利きだとちょっと使いづらそうだなイメージがあったんです」

今回は「バンタンデザイン研究所」の広告制作のためのラフを「Intuos4」で制作し直してみた。腕を鍛える、や、腕を磨く、といったコンセプトのもと、二人羽織りをヒントに、女性モデルの後ろに腕を茶色く塗ったマッジョな男性を立たせ、その手で髪をかきあげるなどの女性らしい動きを手で表現。それをハイスピードで撮影し、妖艶な雰囲気と漂わせた個性的なPVとポスターになっている。「Intuos4」は、従来のモデルよりも、描きやすさ、描き味が格段に上がったため、微妙な線の太さや、イラストの細部の修正なども効率良く仕上げる事ができた。

「カーソルを動かす距離感がマウスとは違うので戸惑いましたが、すぐに慣れました。無駄な作業がなくなるので本当に便利です。今後は、ロゴとかタイポグラフィなどの作成にも積極的に使ってみたいですね」